

令和 8 年度地域連携推進会議

日 時：令和 8 年 8 月 19 日（水曜日）10 時から 12 時

場 所：かがわ総合リハビリテーション福祉センター AV 会議室

出席者：入所者 1 名、入所者家族 1 名

地域の関係者 鶴尾地区民生委員 1 名

福祉に知見のある人 基幹相談支援センター長（りゅううん）

経営に知見のある人 高松市社会福祉協議会 牟礼支所長

施設長、副施設長、サービス管理責任者 1 名、生活支援員 1 名

1. 開会挨拶

施設長より、地域に開かれた施設になるよう、本会議を通じて当施設を知っていただきたい旨と本日の内容についての説明を行った。

2. 出席者紹介

出席者に自己紹介していただいた。

3. かがわ総合リハビリテーション成人支援施設の概要説明と事例紹介

サービス管理責任者より、成人支援施設概要説明を行った。

概要説明

- ・当施設が、社会生活力向上を目的として支援していること
- ・自立訓練について

訓練プログラムについて

利用者の状況について（年齢、障害、退所後の状況）

具体的なプログラムの紹介

- ・就労移行支援について

利用者の状況について（利用経路、終了後の日中活動、障害）

訓練プログラムについて

就職後の支援が重要であること

事例紹介（2 例）

- ・自立訓練を利用して地域復帰した方の事例

自立訓練を通じて、自宅復帰し復職につながった事例を紹介

- ・自立訓練を経て就労移行支援を利用し復職につながった事例

就労移行支援を通じて復職した事例をとおして、就労移行支援の流れを説明した

4. 施設見学

サービス管理責任者の案内で自立訓練、就労移行支援、施設入所支援の見学を行った。出席された利用者からご自身の訓練の様子についてお話くださった。

5. 感想・質疑応答

【感想1】

利用者 遠方に自宅があるが家庭訪問にきてくれる。細かく支援してくれている。

【感想2】

家族 いろいろと支援してくださっていると思うが、なかなか思うように進まない。これからの生活がどうなっていくか考えていかなくてはいけない。本人と話しながらすすめていきたい。

【感想3】

関係者 介護保険を使っている若い人、働きたい人に情報提供したこともある。年1回介護保険のケアマネと一緒に情報交換会を設けている。その際には当事者の方から学ぶ機会を設けている。

【感想4】

関係者 ご本人のやりたいことをできるようにするため、段階を踏んで丁寧に支援している様子がうかがえた。ケアマネとしての悩みは、障害のある若い人たちへの支援。家族の支援も力を入れている。話の中にもあったが、若年の方がデイケア・デイサービスで活動せざるを得ない状況をなんとかならないかと思うことがある。有用な情報であったので、昨年度は、成人支援施設の支援について教えてもらったことや見学した内容を職場に復講した。民生委員とも今後も連携していきたい。

サビ管 施設としても若年者の社会参加に向けた支援は必要性を感じている。県内に1か所しかない施設のため、まだまだ認知度が低い。ケアマネさんに向けた説明もさせていただく機会を持ちたいと思っている。今後とも連携していきたい。

【感想5】

関係者 夏祭り等行事がなくなったことで、センターに来ることも少なくなっていました。

【質問1】

関係者 災害ボランティアとして被災地に出向いた経験あり。センターの災害対策はどのようなになっているか。→センターBCP（業務継続計画）に基づき訓練を行っている。ただ、千葉の水害等のようなことを想定できていないので、今後検討していきたい。

6. 閉会

施設長より、委員の任期は2年であること。任期が終了しても、引き続きご意見等おっしゃってください。